

ながーい紙に描こう

何度も繰り返してきた絵具遊び。

大人が準備を始めると、気付けばみんなの視線は

大人の持っている絵の具。

こどもたちは何度も繰り返すことで、興味がどんどん膨らんで、

『もっともっと』と探求心も芽生え、

夢中になって取り組みます。



みんなでやると、
隣の人が染めた色と混ざる面白さがあり、
手や足に絵の具をつけたりと、
いろいろな方法を知るきっかけに。

絵の具の面白さに気づき、

今度は一人で1枚の紙を3色の絵具を使って
染めてみよう！

はじめは赤・青・黄色なのに

繰り返していくと、どんどん色ができていく。

「あれ、みどりとむらさき できたよ～」



混ぜる色の量によって 出来る色合いが変わります。

1人ひとりのスポンジの動かし方・力の加減…

それぞれがちがうからこそ

その子にしか出せない作品に。



最初は遠慮がちに絵の具に触れる姿もありましたが、

遊び方が分かれると意欲的に手や足を絵の具につけ、

ダイナミックな表現を楽しみました。

紙からはみ出して、窓にもペタペタ。

それくらい、心が解放的な瞬間に。

19名のこどもたちが

夢中になって取り組んだ作品です。↓

